

温室効果ガス・水循環観測技術衛星（GOSAT-GW）を確実に開発し、気候変動に関する科学の発展と政策に寄与

1. 事業目的

地球全大気の温室効果ガス濃度の状況を継続して把握する体制を強化するため、GOSATシリーズの3号機となるGOSAT-GW衛星を令和5年度に打ち上げることを目指している。今般のコロナ禍の影響により衛星観測システムをはじめ性能評価機器の開発などの遅れが懸念されているため、開発計画を前倒して実機の製造等を行う。

2. 事業内容

本事業では、宇宙基本計画（2020年6月閣議決定）に基づき、温室効果ガス・水循環観測技術衛星（GOSAT-GW）の2023年度打上げを目指し文部科学省と共同で開発を行っている。今般のコロナ禍による影響が長期化の様相を呈していることから、国内外の開発メーカーの作業遅延により、全体計画が遅れることが懸念されている。GOSAT-GWを確実に開発し、2023年度の打上げ前に準備を着実に整えるため、以下の対策を講じる。

- ① 試作（開発モデル）を必要とする構成部品は、妥当性の確認と設計の確定を終え次第、実機製造を開始
- ② 他の衛星で実績のある試作を必要としない構成部品については、速やかに実機製造に着手
- ③ TANSO-3観測性能の評価検証を行う機器の製造の先行実施

3. 事業スキーム

- 事業形態 委託事業
- 委託先 民間事業者・団体
- 実施期間 令和2年度

4. 事業イメージ

